



星和電機株式会社

<http://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181

経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
事業別の概況(連結)	3
トピックス	5
財務の状況(連結)	7
会社概要	9
株主メモ	10

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第69期第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に堅調な設備投資や雇用環境の改善などがみられるものの、円高・株安傾向の継続、個人消費に関しては足踏み状態が続く、海外では中国経済の減速や新興国の景気停滞、英国のEU離脱問題など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このようななか、当社グループにおきましては、ものづくり力と販売力の強化に向けて、開発力の強化、競争力ある生産体制の確立、製品品質の向上を図るとともに、ソリューション営業の実践とマーケティング力強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は79億28百万円(前年同期比14.1%減)、経常損失は3億36百万円(前年同期は5億6百万円の損失)となりました。また、特別損失として厚生年金基金解散損失引当金繰入額5億9百万円を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失は7億

70百万円(前年同期は3億24百万円の損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、円高による輸出低迷など企業業績の伸び悩みはあるものの、堅調な設備投資と賃金・雇用環境の改善、公共投資による下支えもあり緩やかな回復基調は続く見込みですが、中国をはじめとする海外景気の下振れ懸念等、依然として先行きは不透明な状況が続くと予想されます。このような状況下、販売力と開発力の強化を図り、生産性の向上によるコスト競争力の強化に努め、利益の確保に取り組んでまいります。

さらに、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

とりわけ照明分野では、従来型照明からLED照明への切り替えが急速に進行しています。照明機器事業では、開発スピードを速め、市場ニーズをとらえた製品開発を行い、産業用照明器具、道路・トンネル照明器具のLED製品の充実をさら

に押し進めてまいります。情報機器事業、コンポーネント事業においても、新たな技術による製品開発を進め、更なる付加価値を提供するソリューション営業の実践と製品のリリースを行ってまいります。

また、近年コーポレートガバナンスのあり方やコンプライアンスの重要性が注目されるなか、ひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年12月

取締役社長

増山晃章



事業別の概況(連結)

情報機器事業

27億28百万円(前年同期比 29.2%減)

主要製品

- 情報表示システム
- トンネル防災システム
- LED式信号機

この事業の主力製品であります道路情報機器において、一般道路向けの売上が前年同期に比べ減少しました。



照明機器事業

21億45百万円(前年同期比 17.6%減)

主要製品

- 照明器具
- 制御機器
- LEDモジュール製品

民間設備投資関連の産業用照明器具においては、LED照明器具の売上が堅調に推移し前年同期に比べ増加しました。

一方、公共投資関連においては、トンネル照明器具を中心に売上が前年同期に比べ減少しました。



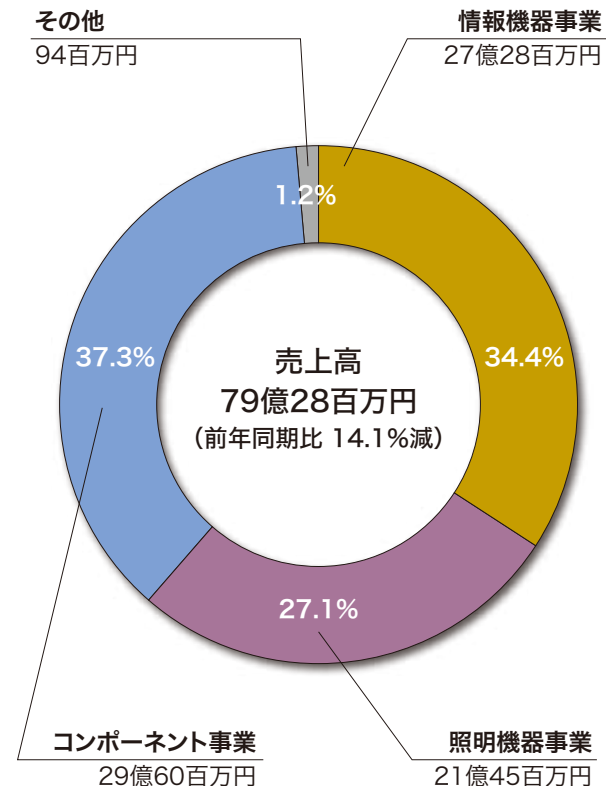
コンポーネント事業

29億60百万円(前年同期比 14.1%増)

主要製品

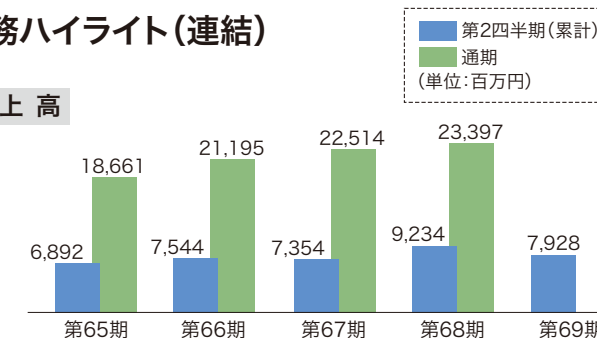
- 配線保護機材
- 配管保護機材
- 電磁波環境部品

エアコン用の配管保護機材と配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は前年並みに推移しましたが、新規製品の売上は増加しました。また、電磁波環境部品は前年並みの売上となりました。

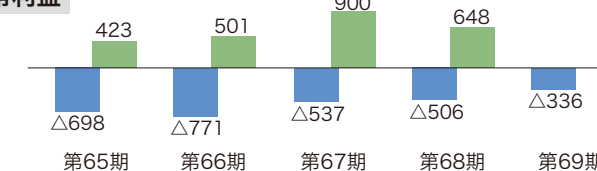


財務ハイライト(連結)

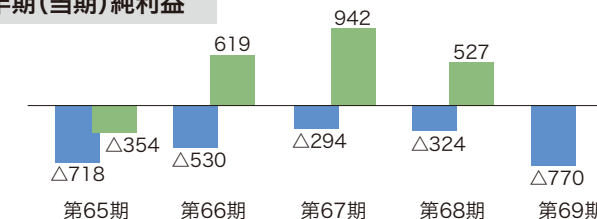
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



盛岡営業所を開設

東日本の震災復興に向けて
新たに盛岡営業所を開設

今年度から東北北部3県(青森、秋田、岩手)の営業拠点として、盛岡営業所を新規開設しました。
場所は、盛岡駅から徒歩約8分という利便性の高い立地です。
従来は、仙台営業所にて東北地方全域に営業展開してまいりましたが、更に東北地方に注力すべく、開設に至りました。
震災復興や東北北部への製品拡販に努めてまいります。

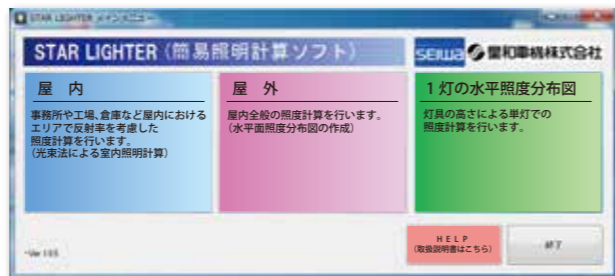


【名 称】 星和電機株式会社 盛岡営業所
【所在地】 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3丁目17-7 北星ビル5階
【電話】 (019)606-5501 【FAX】 (019)654-8268
【開設日】 平成28年4月1日

簡易照明計算ソフト
「STAR LIGHTER」を公開

お手持ちのパソコンで
照明計算が簡単に

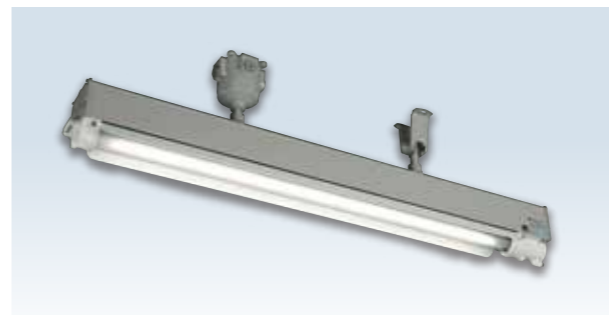
照明ツールとして、無料でダウンロードして頂ける簡易照明計算ソフト「STAR LIGHTER」を当社Webページ内に公開しました。
照明設備の新設時や既設更新時の照明計画・設計の際にご活用いただけます。
照明器具の設置台数や平均照度の算出が出来、設計や保全担当の方が自分で簡単に照明設計を行っていただけます。



防爆形LED灯器具
～LZBAシリーズ～を発売

軽量・コンパクト化した
新シリーズLZBAを新発売

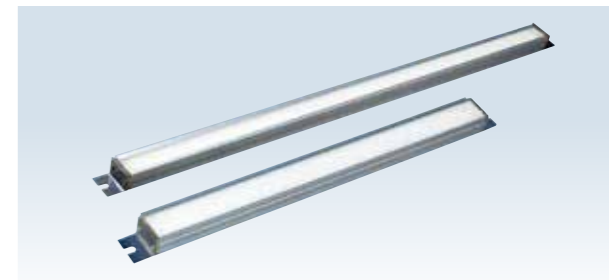
防爆形LED照明器具の直管タイプとして、LZBAシリーズを新発売しました。
従来製品のガラスシリンダー2本構造から、1本に集約し、原価低減と軽量化を図っています。
さらに、FHF32W高出力×2灯相当の明るさを保持し、消費電力については55%削減しています。
また、明るさを3種類ラインアップし、多種多様な環境に設置可能です。色の見え方に影響する演色性は、Ra83を実現し、高い演色性により、作業環境を改善します。



盤内用ラインLED照明
～LMADシリーズ～を発売

制御盤内等で使用いただける
ラインLED照明を発売しました

照明用LEDモジュールの盤内用ラインLED照明～LMADシリーズ～を発売しました。
本製品は、簡易電源を採用し、筐体を出来る限りコンパクト(断面16mm×25mm)にすることで、「スリム設計」を実現しています。
取り付けの際の構造として、照明両端に取付機構があるのももちろんのこと、裏面にマグネットを標準採用し、設置方法や使用方法の自由度を向上させた製品となっています。
制御盤内の蛍光灯ランプの置き換えだけでなく、ショーケース照明やタスクライトなど様々な用途で使用していただけます。



財務の状況(連結)

連結貸借対照表

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期末 平成27年9月30日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産	14,941	12,001	17,611
固定資産	7,006	6,939	6,912
有形固定資産	2,939	2,888	2,965
無形固定資産	419	633	594
投資その他の資産	3,648	3,417	3,353
資産合計	21,948	18,941	24,523
[負債の部]			
流動負債	10,209	7,302	11,887
固定負債	2,434	2,736	2,727
負債合計	12,643	10,039	14,615
[純資産の部]			
株主資本	8,273	8,294	9,186
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,675	3,675
利益剰余金	1,480	1,439	2,331
自己株式	△200	△200	△200
その他の包括利益累計額	942	590	703
非支配株主持分	88	17	18
純資産合計	9,304	8,902	9,908
負債・純資産合計	21,948	18,941	24,523

連結損益計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	9,234	7,928	23,397
売上原価	8,042	6,579	19,320
売上総利益	1,192	1,348	4,077
販売費及び一般管理費	1,688	1,687	3,415
営業利益又は営業損失(△)	△496	△338	662
営業外収益	67	92	138
営業外費用	77	90	151
経常利益又は経常損失(△)	△506	△336	648
特別利益	2	3	3
特別損失	10	522	28
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△514	△855	623
法人税、住民税及び事業税	14	18	86
法人税等調整額	△206	△103	7
当期純利益又は四半期純損失(△)	△321	△771	528
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△0	1
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△324	△770	527

連結キャッシュ・フロー計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,353	3,025	1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△479	△431	△780
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,107	△2,884	311
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△32	△16
現金及び現金同等物の増減額	1,769	△322	767
現金及び現金同等物の期首残高	1,606	2,374	1,606
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,376	2,051	2,374

会社概要

会社の概況(平成28年9月30日現在)

商号 星和電機株式会社
 英文名称 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 創業 昭和20年10月1日
 資本金 33億80百万円

事業所
 本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1
 東京支社 東京都台東区柳橋二丁目19番6号
 中部支社 名古屋市東区葵一丁目26番8号
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号
 営業所 盛岡・仙台・新潟・京都・高松・
 広島・福岡

役員(平成28年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役) 増山晃章
 常務取締役 乾勝典
 常務取締役 望月友彦
 取締役 正林啓志
 取締役 春山雅彦
 取締役 寺垣敬司
 取締役(監査等委員) 佐野廣一
 取締役(監査等委員) 中野淑夫
 取締役(監査等委員) 益満清輝

※中野淑夫および益満清輝は社外取締役であります。

執行役員(平成28年9月30日現在)

執行役員 八木舜
 執行役員 古田雅也
 執行役員 竹之内光彦
 執行役員 小林浩幸
 執行役員 宮下雅良
 執行役員 成平幸弘
 執行役員 芦田二朗
 執行役員 谷口浩二

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)

期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 当社のホームページ(<http://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

お問い合わせ先

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	